

1	審議会名	平成26年山本県記念館運営審議会		
2	日時	平成26年6月2日 午前・後10時から 午前・後11時10分まで		
3	会場	山本県記念館1階講習室		
4	出席者	大井喜久会長、清水義博委員、工藤純委員、百瀬靖子委員		
5	市側出席者	倉澤館長、尾見博物館庶務学芸係長、藤城主任、若林指導員		
6	公開・非公開等の別	公開	・	一部公開
7	傍聴者	0人	記者	0人
8	会議概要作成年月日	26年6月2日		

## 協議事項等

## 1 開 会 (尾見係長)

## 2 館長あいさつ (倉澤館長)

上田市立美術館が10月1日から開館。山本県記念館はこれに伴って9月末日をもって閉館し、美術館にすべて引き継がれる予定である。

今回は、25年度の事業報告、閉館に関する事、および今年度事業計画についてご審議頂きたい。

今後の記念館の予定としては、8月末には一般公開を終了し、9月中には収藏品等の移転を行う。

## 3 協議事項

## 1. 議題の概要

- (1) 平成25年度事業報告について
- (2) 閉館について
- (3) 平成26年度事業計画について

## 2. 審議概要 (大井会長)

## (1) 平成25年度事業報告について

資料説明 (藤城主任)

(委員) 閉館特別展の期間中の延べ入館者数1,789名はもう少し多くてもいいと思う。

(事務局) 閉館特別展期間中は有料入館者が前年度比で3倍に増えた。年間入館者数が前年度比で減っているが、博物館も減っている。公園に来る人自体が減っているの、記念館が特に減っているわけではない。大河ドラマ決定もあり今後は増加を期待している。公園全体が減少の中で記念館は閉館特別展期間中に入館者増となった。

## (2) 閉館について

(事務局) 上田市立美術館が10月1日に開館し、9月末日をもって山本県記念館は閉館し、記念館の収藏品、資料、及び事業はすべて美術館に移管される予定である。山本県運営審議会も10月からは上田市立美術館協議会に引き継がれる。

(委員) 記念館でやっていた美術教室やOB教室について、美術館へも引き継がれるのか。

(事務局) 美術館で美術教室等すべての事業を引き継ぐことになっている。

(事務局) 9月末日の山本県記念館閉館について、了承いただけるか。

(全委員) 了承。

## (3) 平成26年度事業計画について

資料説明 (藤城主任)

(委員) 記念館の活動は濃いものがあった。これまで培ってきたことを美術館でも引き継いで欲しい。

(委員) 記念館は開館してからどのくらい経つのか。今後、この建物はどうなるのか。

(事務局) 記念館は建設されてから約52年になる。記念館の建物は残し、博物館の分館とする予定。

(委員) 山本県運営審議会は今回が最後になるので、皆さん要望を出したほうが良い。これまで記念館でやってきた地味でも市民直結の活動を継続するよう要望したい。

(委員) 委員の意見がどのように反映されたか知りたい。

(事務局) 今までいただいたご意見やご要望は美術館へ引き継ぐ。美術館でも山本県の研究活動を進め、企画展も開催されることになっている。

(委員) 記念館の精神をぜひ受け継いでもらいたい。

#### 4. その他

特になし

#### 5. 閉会(尾見係長)